

みやぎ復興プレス

「みやぎ復興プレス」では、東日本大震災により被災された方をはじめとした復興に関わる多くの方々に、宮城の復興状況やイベント、被災者支援など、復興に関する主な情報をお届けします。メールマガジンやWebサイトとも連動し、多くの皆さまのお手元に情報をお届けしますので、よろしくお願いいたします。

目次

- p1 トピックス：石巻魚市場が全面運用再開！
- p2 みやぎ“復興人”：特定非営利活動法人ピースジャム、応援職員紹介
- p3 月刊ココロプレス
- p4 県からのお知らせ、復興イベント情報



メールマガジンによる配信も行っています！ 配信を希望される方は、1お名前、2お住まいの都道府県、3ご所属（個人の方の場合は不要）をメール本文に記載して fukusuim@pref.miyagi.jp まで送信願います！



石巻魚市場が全面運用再開！

～水産業復興の追い風に～

国内最大級・最新衛生設備を有する魚市場

平成27年9月1日、東日本大震災の津波で全壊し、再建を進めてきた石巻魚市場（石巻市）が、全面運用を開始しました。

同魚市場は、震災後の平成23年7月から仮設テントにより卸売業務を再開。平成25年8月から建築事業に着手し、整備を進めてきました。

新施設は、岸壁の延長が震災前の650メートルを上回り、約880メートルで国内最大規模となりました。また、同施設は国際的な食品衛生管理方式「HACCP（ハサップ）」に対応した最新の衛生管理システムを導入し、水産物の付加価値を高め、国際的な販路拡大を目指します。

石巻の基幹産業である水産業の復興が進むことで、地域経済の一層の活性化が期待されています。



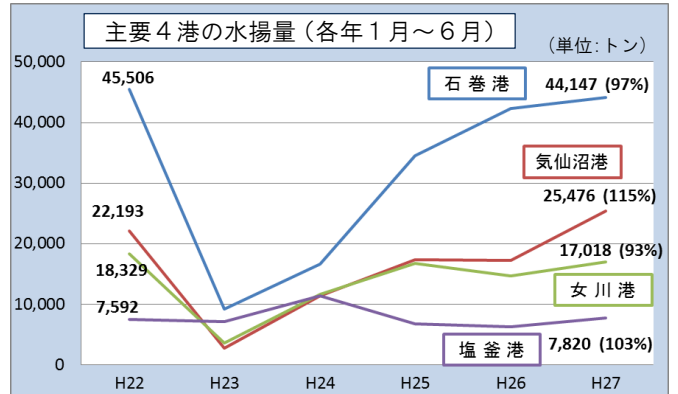
県内の「水揚量」「水揚金額」が震災前を上回りました

被災した県内の魚市場のうち、主要4港（気仙沼、女川、石巻、塩釜）の前期（平成27年1月から6月まで）の「水揚量」と「水揚金額」の合計が、震災後初めて震災前の数量、金額を上回りました。

4港の水揚量合計（前期）は、平成22年93,620トンに対し、平成27年は94,461トン（101%）、水揚金額は、18,321百万円が20,645百万円（113%）となっています。

漁港や加工施設、漁船などの復旧が徐々に進んでいることが一つの要因として挙げられており、その他の漁港等においても、復旧整備が続いています。

さらに、本県水産業の復興に向けて、ハード面の整備だけでなく、市町村や国、関係団体等と連携し、販路拡大や経営の安定化、担い手育成の強化を図っています。



【問い合わせ先】 石巻市産業部水産物地方卸売市場建設室
 石巻市産業部水産課
 県水産業振興課（県内の水揚状況について）
 県漁港復興推進室（県内魚市場の整備状況について）

☎0225-95-1111（内線3573）
 ☎0225-95-1111（内線3512）
 ☎022-211-2931
 ☎022-211-2942



「とにかく赤ちゃんのお腹は減らさない」をモットーに震災直後から、赤ちゃんとお母さんのいる避難所や家庭を回り、ベビー用品等の支援を行ってきた佐藤賢さん。平成24年5月に「特定非営利活動法人ピースジャム」を立ち上げ、気仙沼を中心に赤ちゃんをもつ母親の育児環境の改善や就業の支援をしています。今月号では、代表の佐藤賢さんにお話を伺いました。

●活動を始めた経緯を教えてください。

震災翌日、7か月になる娘のミルクやおむつを買うためにドラッグストアを訪れたところ、「母乳が出ないのでなんとかミルクを売って欲しい」と涙ながらに訴えている母親がいました。しかし、この店にはミルクがありませんでした。その時、同じ子供を持つ親として、「なんとしても赤ちゃんの命を守らなければいけない、お腹を空かせない」と強く感じました。その母親に避難先を聞いた後、内陸の店まで行ってミルクを購入し、無事避難所に届けたところ、他にも同じ状況の母親がたくさんいたのです。

そこで、母親達が必要としている物資を届けようと、この活動を始めました。当初は、1人だったので非常に大変でしたが、地元の有志達の協力やブログを通じて全国から届けられた支援物資のおかげで、活動を続けることができました。



●団体の取り組みについて教えてください。

この活動の中で、母親達から「子育てについて相談できる場が欲しい。」「働く場所が欲しい。」「子供の遊び場が欲しい。」といった意見が出てくるようになりました。

震災で、それまでのコミュニティーが分断され、彼女たちは人との関わりが減っていました。また、慣れない避難所生

活での育児によるストレスもあり、社会の中で孤立するようになっていました。私は、それらを解消する場が必要だと考えたのです。

そこで、平成23年9月頃から、母親達が子育てをしながら、生きがいを持って生活ができるように、雇用の場として、ジャムづくり事業を開始しました。団体名にちなんで始めたジャムづくりは、薬膳料理を研究されている先生にアドバイスをいただき、地元の野菜を使ってつくりました。また、職場にはキッズスペースを用意し、母親が安心して作業に取り組める環境を整えました。

ジャムづくりを始めて気づいたことは、母親達にとって、仕事場が互いに悩みを相談できる情報交換の場であり、育児や家庭から離れ、自分の時間を持つことができる場でもあるということでした。つまり、仕事は賃金を得るためだけではなく、心を豊かにするものでもあると言えます。

現在は、他にもシュシュやミニ巾着の製造・販売を行う縫製事業を行っています。まもなく、コミュニティカフェもオープンする予定で、より多くの母親達が繋がりを持てる場所ができれば良いと思っています。



●今後の抱負をお聞かせください。

今後は、現在の事業をビジネスモデルとして確立し、次の世代の母親達がさらに暮らしやすい地域となるよう、その基礎を作っていきたいと思います。

また、子供を中心として、震災以降、家に閉じこもりがちな高齢者など、地域の人々も横断的に関わることのできるイベントや場所づくりを行い、震災で傷ついた方々の心の復興に繋げていきたいと思っています。

問 特定非営利活動法人 ピースジャム

宮城県気仙沼市落合 254-1

☎0226-29-6583 URL: <http://peace-jam.jimdo.com/>

全国の皆さま ご支援ありがとうございます！

応援職員紹介コーナー Vol.36



氏名 中村 公祐 (ナカムラ コウスケ)
派遣元 株式会社七十七銀行
所属 地域復興支援課

出身は秋田県ですが、小学校から中学校までを仙台市で過ごしました。第二のふるさとである宮城県で働きたいと思い、七十七銀行に入行しました。震災当時は、石巻市内の支店に勤務していたので、津波を目の当たりにし、その恐ろしさを痛感しました。その後2年間同地区で勤務を続け、平成26年4月から宮城県へ派遣となりました。

派遣元の七十七銀行は、被災した宮城県に本店を置く金融機関として、震災関連融資の実行や、二重ローン問題への対応、ビジネスマッチ

ングの推進によるコンサルティング機能の発揮に努めるなど、復興に向けて取り組んでいます。

派遣先では、地域コミュニティの再生に係る補助金を担当しています。被災地では、仮設住宅から災害公営住宅への移行期にあり、新たなコミュニティの機能強化や地域活性化に向けた活動に対する支援をしています。震災から4年半が経過し、復興のフェーズも変化していますので、現場感覚を大切に業務に励みたいと考えています。

今の業務でしかお会いできない方や経験できないことがあるので、一つ一つの出会いを大切にしながら、被災した方々のお役に立てるよう業務にまい進していきたいと思っています。

「ココロプレス」は宮城県の復興を応援するブログです。

宮城の復興状況や生活再建に懸命に取り組む人々の姿、全国から寄せられる力強く温かい応援の様子などを随時発信しています。

おかげさまで1500記事・
150万アクセスを超えました。

宮城の
復興情報を
募集中です!

復旧復興のPRや支援の取り組みなど、伝えたい情報を、下記メールアドレスまでご連絡ください。

fukusuip@pref.miyagi.jp

必要事項: 1取材対象/2取材希望日/3取材場所/4御担当者氏名/5電話番号

※内容や日程によってはご希望にそえない場合もございますので、ご了承ください。



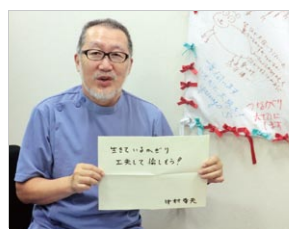
ココロプレス 検索

2015年8月24日 月曜日掲載

生きている間を愉しむためのヒント (南三陸町)

http://kokoropress.blogspot.jp/2015/08/blog-post_24.html

過疎地域の医療格差と医療資源の疲弊軽減に取り組んでいる医師の中村幸夫さん。震災を機に南三陸町に移って、「超高齢社会を生き続けるための努力の営みを愉しむ」と題し、月に2回ほど町民向けの健康講座を開催しています。



2015年9月2日 水曜日掲載

本当の復興はここから始まる (仙台市)

http://kokoropress.blogspot.jp/2015/09/blog-post_19.html

元あすと長町仮設住宅自治会長で、現在は「あすと長町コミュニティ構築を考える会」代表の飯塚正広さん。「復興公営住宅に入ってからが本当の復興の始まり。終の棲家に入ってから、心の復興が始まるんです」と語ります。



2015年9月4日 金曜日掲載

災害時のトイレ対策を考える (仙台市)

http://kokoropress.blogspot.jp/2015/09/blog-post_39.html

震災時には大問題だったトイレ対策。「我慢するうちに病気になった」という例も聞かれました。「非常時でもすぐに使えて臭わないトイレ」の開発に女子高校生と企業が協力して取り組み、災害対策用製品の展示会で発表されました。



2015年9月9日 水曜日掲載

支えて支え合う「仲間たち」のチカラ (南三陸町)

http://kokoropress.blogspot.jp/2015/09/blog-post_38.html

伊里前復興商店街で開催された「2015歌津復興夏まつり」。ボランティアの数が徐々に少なくなる中で、震災直後から南三陸町で活動する「NPO法人 フェローズ・ウィル」の皆さんが、今年も開催をがっちり支えてくださいました。



2015年9月16日 水曜日掲載

宮城県庁に「東日本大震災復興情報コーナー」オープン! (仙台市)

http://kokoropress.blogspot.jp/2015/09/blog-post_16.html

宮城県庁18階に「東日本大震災復興情報コーナー」がオープン。復興に向けた取り組みや防災知識などを、パネル、映像、電子書籍、ゲームアプリなどで紹介しています。初日には小学生約150人が校外学習で訪れ、学んできました。



2015年9月25日 金曜日掲載

できる人ができるところから ～震災を語り継ぐ～ (山元町)

<http://kokoropress.blogspot.jp/2015/09/1.html>

昨年3月まで山元町役場職員だった岩佐孝子さん。近年退職後はほぼ毎日、「語りべ」などボランティア活動に力を注いでいます。「今生きている一瞬一瞬が奇跡です。皆さんに会えることに感謝しています」と、終始にこやかに話します。



みやぎジョブカフェ（みやぎ若年者就職支援センター）からのお知らせ

みやぎジョブカフェでは、宮城県内への就職を支援する取り組みとして「合同適性試験&合同企業説明会」及び「業種・職種別企業説明会」を開催します。

「合同適性試験&合同企業説明会」

適性試験参加者は1回の受験で、説明会に参加する企業のうち、希望する全ての企業に応募できます。

【適性試験 日程及び会場】

第1回目	平成27年11月20日(金) 10:30~12:30 (エル・ソーラ仙台 アエル28階)
第2回目	平成27年11月20日(金) 15:30~17:20 (エル・ソーラ仙台 アエル28階)
予備日	平成27年11月21日(土) 10:00~11:30 (東北電子専門学校 201教室)

- * 事前予約不要、参加費無料
- * 各回先着70人迄(予備日は先着28人迄)

【合同企業説明会 日程及び会場】

平成27年11月20日(金) 13:30~16:30
(仙台市情報・産業プラザ多目的ホール アエル5階)

【対象者】

- ・平成28年3月大学等卒業予定者
- ・若年求職者(44歳以下)
- * 当日は、学生証や運転免許証などの身分証明書をご持参ください。

「業種・職種別企業説明会」

業種や職種を限定した説明会となっているため、就きたい仕事が明確な方にはより効率的です。

【職種・日程等】

職種	日時
介護・福祉職	平成27年11月10日(火)
サービス業	平成27年11月24日(火)
営業・販売職	平成28年1月20日(水)
食品関連	平成28年1月25日(月)

※時間はいずれも13:00~16:00まで

【会場】

仙台市情報・産業プラザ アエル6階

【対象者】

- ・平成28年3月大学等卒業予定者
- ・若年求職者(44歳以下)



④みやぎジョブカフェ

「合同適性試験&合同企業説明会」について

☎022-745-0007

「業種・職種別企業説明会」について

☎022-217-3462

URL:<http://www.miyagi-jobcafe.jp/>

➤ 復興 イベント情報

第25回 塩竈の醍醐味(塩竈市)

生まぐろの解体実演・即売、海鮮炭火焼コーナー、スタンブラリー抽選会など、盛りだくさんの内容で塩竈の魅力が味わえるイベントです。

④平成27年10月17日(土)~18日(日)
両日ともに9:00~15:00

④マリゲート塩釜

④マリゲート塩釜事業振興会

☎022-361-1500

「みやぎ復興住宅フォーラム」を開催します(宮城県)

住まいの復興・復興がどこまで進んでいるのか?これまでのどのような取組が行われてきたのか?建築家の妹島和世氏等を迎えて、住まいの復興とその先にある新しいまちづくりを考えます。入場無料です。

④平成27年10月21日(水) 14:00~16:00

④宮城県庁2階講堂

④県土木部住宅課

☎022-211-3256

URL:<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/juutaku/>

凡例

④日時、期間 ④場所、会場 ④問い合わせ

ハナトピア岩沼 秋の収穫祭(岩沼市)

収穫の秋を祝い、地元で採れた新鮮な野菜などの直売をはじめ、千人鍋などおいしい秋を満喫できるイベントが盛りだくさんです。園内には、季節の花々が咲き、花壇を中心に施設を一周できる回廊では、木々の緑や小鳥たちのさえずりを楽しむことができます。

④平成27年11月7日(土) 10:00~15:00

④ハナトピア岩沼

④ハナトピア岩沼

☎0223-23-4787

「さんフェア宮城2015」を開催します(宮城県)

農業、工業、商業等の専門高校で学ぶ生徒が、発表・展示・交流等のイベントや農水産物等販売などを通じて、日頃の学習成果を紹介し、専門高校の魅力を発信します。

④平成27年11月7日(土) 10:00~14:00

④宮城県庁・勾当台公園

④県教育庁高校教育課

☎022-211-3625

イベントの日程・内容などは変更される場合がありますので、お出かけ前に、それぞれの問い合わせ先にご確認ください。

みやぎ復興プレス 第41号

【発行日】平成27年10月1日 【発行】宮城県震災復興本部(事務局:震災復興推進課)

電話:022-211-2443 e-mail:fukusuif1@pref.miyagi.jp

宮城県ホームページ「震災復興推進課」

URL <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/fukusui/>

「震災・復興」

URL <http://www.pref.miyagi.jp/site/ej-earthquake/>

